

文教大学情報学部 社会調査ゼミナール研究報告

海を渡る日本アニメとオタク認知

2006年2月

情報学部 広報学科 3年

奥山 陽子

海を渡る日本アニメとオタク認知

奥山 陽子

目次

1章 研究の概要	1
1.1 研究の背景と目的	1
1.2 研究の方法	1
(1) 進捗経緯	
(2) 調査の概要	
1.3 成果の概要	2
2章 研究の成果	3
2.1 回答者の概要	3
2.2 アメリカとヨーロッパの映画・音楽に対する評価	3
(1) アメリカとヨーロッパの映画・音楽の世界レベルに対する評価	
(2) アメリカの映画・音楽の好評度と世界レベルの評価	
(3) ヨーロッパの映画・音楽の好評度と世界レベルの評価	
2.3 欧米で注目される日本製アニメ	6
(1) 欧米で注目される日本製アニメに対する認知	
(2) アメリカの映画・音楽の好評度と欧米の日本アニメ高評価について	
(3) ヨーロッパの映画・音楽の好評度と欧米の日本アニメ高評価について	
(4) アメリカ映画・音楽の好評度と日本アニメの誇り度合	
(5) 日本のアニメの印象が良くなった理由	
2.4 「オタク」に対する考え	10
(1) オタクの認知とその種類	
(2) オタクの好き嫌いとおタク友達の有無	
(3) オタクの改善項目	
2.5 「オタク」と日本アニメの関係	12
(1) 海外の日本アニメ人気に対するオタク貢献度	
(2) オタクの存在価値を認めるかと日本アニメを誇りに思うか	
(3) オタクの存在価値を認めるかと欧米での日本アニメの注目に対する印象	
3章 まとめと今後の課題	14
参考文献	16
単純集計結果	17

第1章 研究の概要

1.1 研究の背景と目的

今日の日本社会には様々な文化が存在するが、その中でも最も異様でありながら、人々にいちばん認知されているのが「オタク」の文化である。

今まではオタクと言われるだけで忌み嫌われ、彼ら特有の文化は周囲には理解できないとされてきたが、実状はどのようなのだろうか。オタクの青年が主人公である映画やドラマが大ヒットした。また、海外ではいわゆる「オタクカルチャー」といわれるアニメやマンガが人気を集め、日本製アニメ映画も高く評価されている。これらの実状は、日本人がオタクを考え直すきっかけになると思われる。

しかし日本人が今まで頑なに拒んできた「オタク文化」。人々はそんなに簡単にこれを受け入れるだろうか。ドラマや映画の世界と現実は違うと考える人もいるだろう。海外が認めようがなんだろうが、嫌なものは嫌という人もいるだろう。または、海外でオタク文化が認められたからといって、それは海外が認めたのが「アニメ」だからであって、「オタク」を認めたわけではない、と屁理屈を言う人もいるだろう。

逆にオタクを考え直した人もいる。映画やドラマに素直に影響されて考え直したり、または海外のオタク文化認知の影響もある。はたまた、欧米が認めたから自分も認めようとする「欧米便乗型」の人もいるかもしれない。オタクを認めようが認めまいが、人々の考えは様々である。

この研究で私は、人々の率直なオタク認知度を調べたい。またオタク認知と欧米認知の関係に関しても何か発見があればいいと思う。日本人が日本人を、日本の一つの文化を認めようとするとき、なにが影響するのか。オタク人はどこに嫌われる要因があるのか。オタクに関係する日本社会の特徴などを明らかにしたい。

1.2 研究の方法

(1) 進捗経緯

- 6月～7月：テーマ企画・討論会
- 8月：調査票案を作成
- 9月：ゼミ合宿において、調査票最終案完成。
- 10月：調査票の配布、回収。
- 11月：調査票の集計。

- 12月：集計終了。単純集計とクロス集計。

(2) 調査の概要

a. 調査の意図

欧米文化認知の実態等を把握し、オタク文化と欧米認知の関係と、一般人の意識の中のオタク浸透度の調査を目的とする。

b. 主な質問項目

アメリカの映画・音楽の認知、ヨーロッパの映画・音楽の認知、欧米での日本製アニメの人気、「オタク」について調査した。

c. 調査対象者と方法

- ・調査対象者 文教大学学生 授業名：文学 担当教員：岡野雅雄
授業名：広報論 B 担当教員：菊地 勉

・調査方法

文教大学の授業で生徒の所属学科に偏りのないものを選び調査票を配った。

・調査票依頼数と回収数、有効回収数

依頼数 142

回収数 137

有効回収数 137

1.3 成果の概要

海外の映画・音楽を「アメリカ」と「ヨーロッパ」で分け、どちらの芸術に日本人は多く関心を持っているか調査した。結果は人々の関心はアメリカの方が強かった。しかし世界レベルを聞かれると答えは曖昧になり、わからないと答えたものが多かった。

日本人の日本アニメに対する関心と欧米の日本アニメ人気の関係について調べたが、欧米の影響で日本アニメの見方が変わった人が少なかったことから、このことに関しては日本人は特に欧米に影響されていないことが分かった。

オタクを良いイメージで見ている人は少なかった。悪いイメージが圧倒的に多く、友達もいないのにオタクを嫌い、嫌いな要因がオタクの外見であった。

オタクと日本アニメの関係について調べたが、両者にこれといった関係を見出すことができなかった。人々は今日の日本アニメ人気とオタクは別のものであると感じている。

第2章 研究の成果

2.1 回答者の概要

調査対象としては湘南キャンパスの学生を母集団として考えている。本調査では回答標本を無作為抽出で作成してはいたないために、母集団から見て偏りを生じる可能性がある。そこで回答者の性別の分布を表2-1-1で確認しておく。

本調査の回答者は男子が約45%、女子が約55%で若干女子の方が多かった。これらの偏りは、回答者全体の分布にはそれなりの影響を与える可能性があり、解釈時には注意が必要である。しかし、クロス集計やグループの平均などの層化を行った集計では、影響は限定されると考えられる。

表2-1-1 回答者と母集団の比較

	男子	女子	計
回答者	45.3 (62)	54.7 (75)	100.0 (137)
湘南キャンパス学生	56.5 (1730)	43.5 (1333)	100.0 (3063)

(注) 母集団は湘南キャンパス学生(2005.10末時点)である。

2.2 アメリカとヨーロッパの映画・音楽に対する評価

オタクを考える前にまず、幅広い芸術の分野について考えたい。

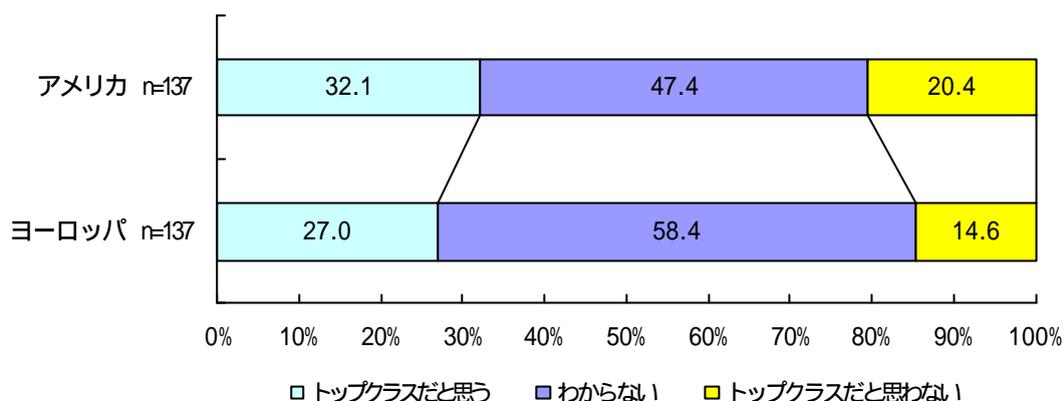
現在の日本では海外から送られてきた様々な芸術を見聞きすることができる。中でも映画と音楽は日本人にとって最も親しみのある分野である。

日本人は海外の映画・音楽をどう思い、どう評価しているのだろうか。ここでは海外を「アメリカ」と「ヨーロッパ」の2つに分けて考える。

(1) アメリカとヨーロッパの映画・音楽の世界レベルに対する評価

図2-2-1は、映画と音楽に対する回答者の世界レベルの評価を、アメリカとヨーロッパそれぞれについて表したものである。

図2-2-1 アメリカとヨーロッパの映画・音楽の世界レベル評価



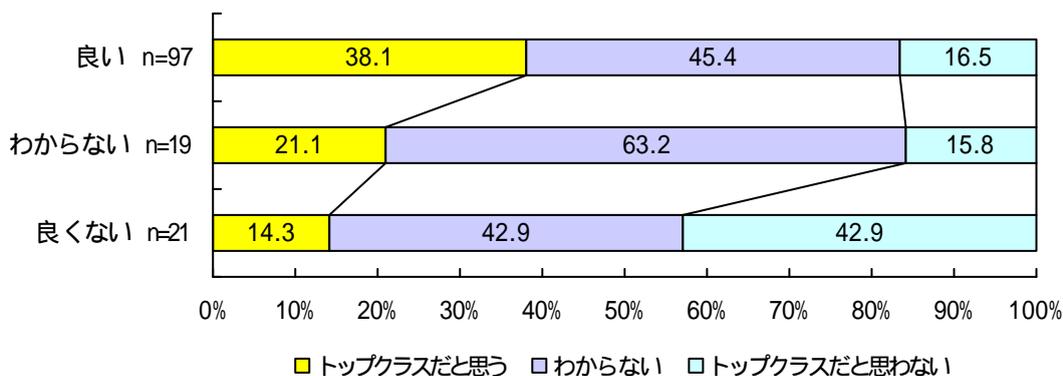
両者に顕著な差はないが、「トップクラスであると思う」と「トップクラスだと思わない」の両方の数値がヨーロッパに比べてアメリカが多いことから、人々の関心はヨーロッパよりアメリカに向いていることがわかる。よって人々は、ヨーロッパよりアメリカの芸術の方に関心があり、世界でもトップクラスだと認めているということだ。

しかし両者とも圧倒的に「わからない」が多いことから、世界でトップクラスかどうかは人々にとって特に気にならないことなのかもしれない。

(2) アメリカの映画・音楽の好評度と世界レベルの評価

回答者にアメリカの映画・音楽の好評度を「すばらしい」「良い」「それほどでもない」「良くない」「わからない」の5段階で回答してもらい、その結果から「良い」「わからない」「良くない」の3つのグループを作って、グループ毎にアメリカの音楽・映画がトップであるかの認識度合を集計した結果が図2-2-2である。

図2-2-2 アメリカの映画・音楽の好評度と世界レベル評価 (2乗:*)

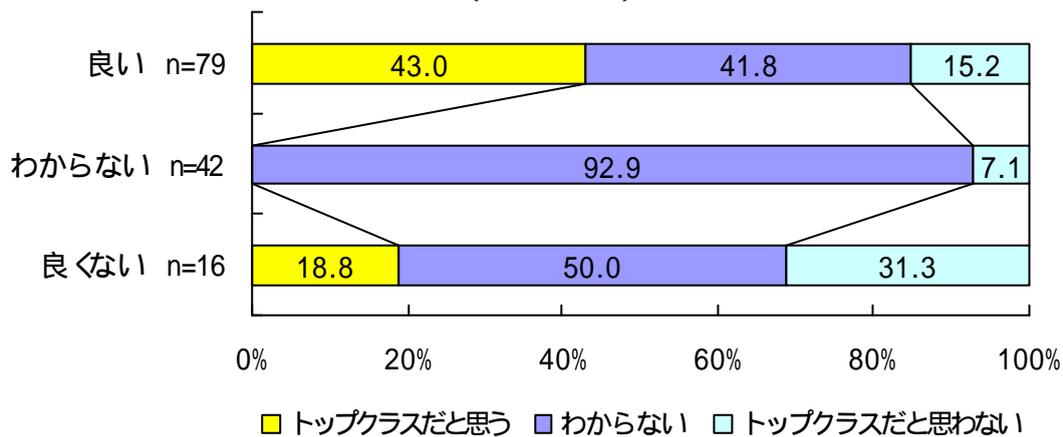


全体的にやはり世界レベル評価は「わからない」と答える人が多かった。しかし項目別に見てみると、アメリカの映画・音楽を「良い」と思う人の世界レベル評価はやはり高く、約4割である。「良くない」と思う人は世界レベル評価が低く、約4割の人が「トップクラスだと思わない」と感じている。自分が良いと認めないと、世界でトップとも認めないということになる。

(3) ヨーロッパの映画・音楽の好評度と世界レベルの評価

次はヨーロッパの映画・音楽の好評度を「良い」「わからない」「良くない」の3つのグループに分け、グループ毎にヨーロッパの音楽・映画がトップであるかの認識度合を集計した。その結果が図2-2-3である。

図2-2-3 ヨーロッパの映画・音楽の好評度と世界レベル評価
(2乗:***)



同じように比較したアメリカのグラフ(図2-2-2)と比べると、好評度が「わからない」の項目に差がでた。好評度が「わからない」人で世界レベル評価が「トップクラスだと思う」人はゼロだった。ということはアメリカに比べてヨーロッパの映画・音楽は関心がない人にはまったくわからない分野であるということだ。他はアメリカとほぼ変わらず、好評度が「良い」人は世界でトップだと思い、好評度が「良くない」人はトップだと思わない傾向が強い。この結果からも人々はヨーロッパよりアメリカの映画・音楽により関心があると言える。

2.3 欧米で注目される日本製アニメ

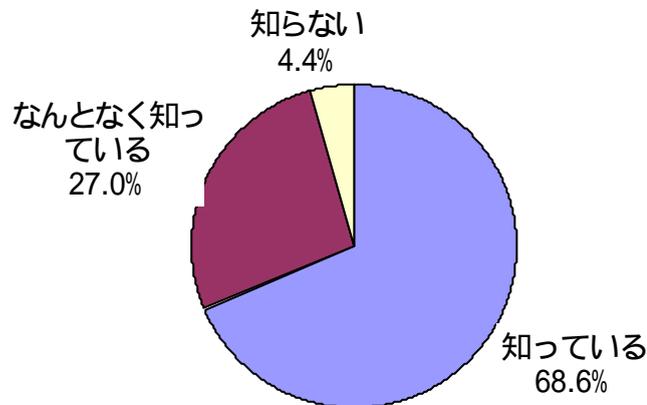
現在、欧米諸国を中心に日本のアニメが注目されている。そのことに対し日本人はどのように感じているのだろうか。次は日本製アニメに対する人々の考えと欧米で注目されることについての結果と考えをまとめる。

(1) 欧米で注目される日本製アニメに対する認知

まず明らかにしておきたいのは、人々は欧米で日本のアニメが注目されていることを知っているかどうかということだ。図2-3-1は日本のアニメが注目されていることを知っているかどうかを回答してもらった結果である。

「知っている」「なんとなく知っている」を合わせると、9割以上の人々が欧米で日本のアニメが注目されていることを知っていると答えている。このことから日本アニメのメディア露出度が増え、アニメが“日本のアニメ”として日本人にも注目されつつあるということがわかる。

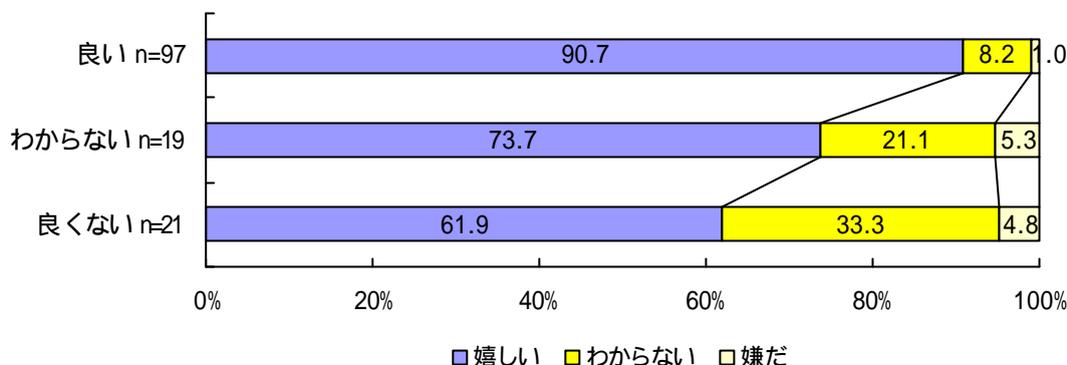
図2-3-1 日本アニメが欧米で注目されることの認知 (n= 137)



(2) アメリカの映画・音楽の好評度と欧米の日本アニメ高評価について

図2-3-2はアメリカの映画・音楽の好評度を「良い」「わからない」「良くない」の3つのグループに分け、グループ毎に日本のアニメが欧米で高く評価されることに関してどう感じるかを集計した結果である。

図2-3-2 米国の映画・音楽好評度と日本アニメが高く評価されることについて（2乗：*）

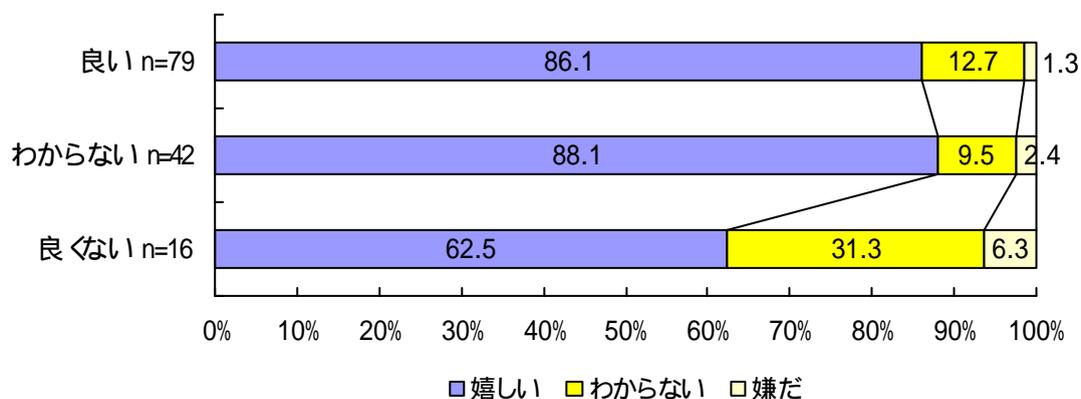


好評度が「良い」と答えたグループは日本アニメが高く評価されることを嬉しく思っていて、その割合は約9割で大半を占めていた。逆に「良くない」と答えたグループは嬉しいと答えた割合が約6割で、「良い」と比べたら約3割も低い。このことからアメリカの映画・音楽の好評度が高い人にとって日本のアニメが欧米で高く評価されることは嬉しいことで、好評度が低い人にとって欧米での高評価は嬉しさの度合が減ることがわかる。

(3) ヨーロッパの映画・音楽の好評度と欧米の日本アニメ高評価について

(2)の集計を、今度はアメリカをヨーロッパに変えて同じ集計をしてみた。図2-3-3は回答者のヨーロッパの映画・音楽の好評度を「良い」「わからない」「良くない」の3つのグループに分け、グループ毎に日本のアニメが欧米で高く評価されることに関してどう感じるかを集計した結果である。

図2-3-3 欧州の映画・音楽好評度と日本アニメが高く評価されることについて

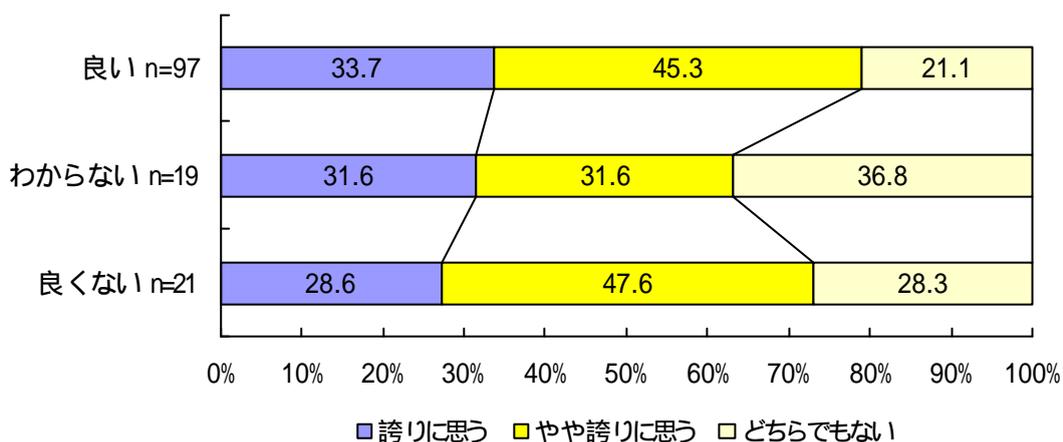


アメリカの集計ではグループ間に差が出たが、ヨーロッパの場合は差があまりない。2乗検定でも有意な差は出なかった。このことからアメリカとヨーロッパではアメリカの方が好評度もアニメ評価も敏感であるということがわかる。

(4) アメリカ映画・音楽の好評度と日本アニメの誇り度合

好評度をアメリカにしぼり、アメリカの映画・音楽の好評度が「良い」「わからない」「良くない」の3つのグループに分け、グループ毎に日本のアニメを誇りに思うかを調査し、集計した(「誇りに思わない」は「どちらでもない」に含まれる)。結果を図2-3-4に示す。

図2-3-4 米国映画・音楽評価と日本アニメの誇り



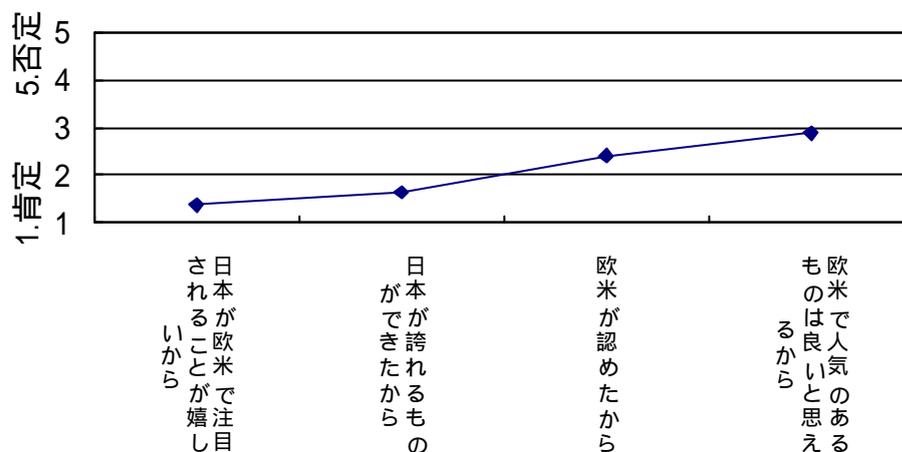
3つのグループの間に2乗検定での有意な差は出なかった。アメリカの映画・音楽の好評度が高くても低くても、日本のアニメを誇りと感じる度合は変わらない。このことからアメリカの映画・音楽の好評度と日本アニメに対する誇りとは関係がないといえる。ヨーロッパの映画・音楽の好評度でも同様に調べたが、結果は同じで、日本アニメの誇りの度合に関しては差は出なかった。

欧米の映画や音楽がどんなに良いものでも良くないものでも、人々のアニメに対する誇りは変わらない。

(5) 日本のアニメの印象が良くなった理由

欧米で注目されたことがきっかけで日本のアニメを見直そうとする人はどのくらいいるのだろうか。その人々はなぜ考えを変えたのか。図2-3-5は、欧米でアニメが注目されてから、日本のアニメに対する気持ちに変化があった人々に聞いた、日本のアニメをプラスに見るようになった理由の傾向ある。

図2-3-5 日本のアニメをプラスに見るようになった理由(n=29)



「日本が欧米で注目されること嬉しいから」と「日本が誇れるものができたから」は肯定の割合が高かった。「欧米で人気のあるものは良いと思えるから」の傾向が肯定と否定の間であったことから、日本人の日本アニメの評価は完全に欧米に依存しているとは言えない。人々が日本のアニメをプラスに見るようになったのはそれを認めたのが欧米だからではなく、欧米が“日本の”アニメを認めたからである。

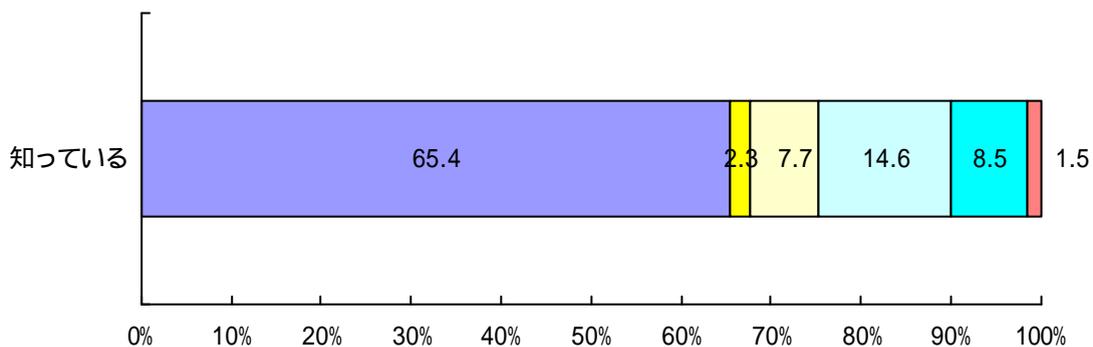
2.4 「オタク」に対する考え

世の中では「オタクオタク」と騒がれているが、実際人々はオタクのことをどう認知しているのだろうか。また人々はオタクのことをどうイメージしているのか。一般の人々とオタクの関係について調べた。

(1) オタクの認知とその種類

まずオタクを知っているという人はどれくらいいるのだろうか。そしてその人たちの中で一番メジャーなオタクは何オタクなのだろうか。図2-4-1はオタクをなんとなく知っているという人も含めた知っている人たちに一番メジャーだと思うオタクの種類を答えてもらったものである。

図2-4-1 オタクの存在認知とその種類 (n=130)



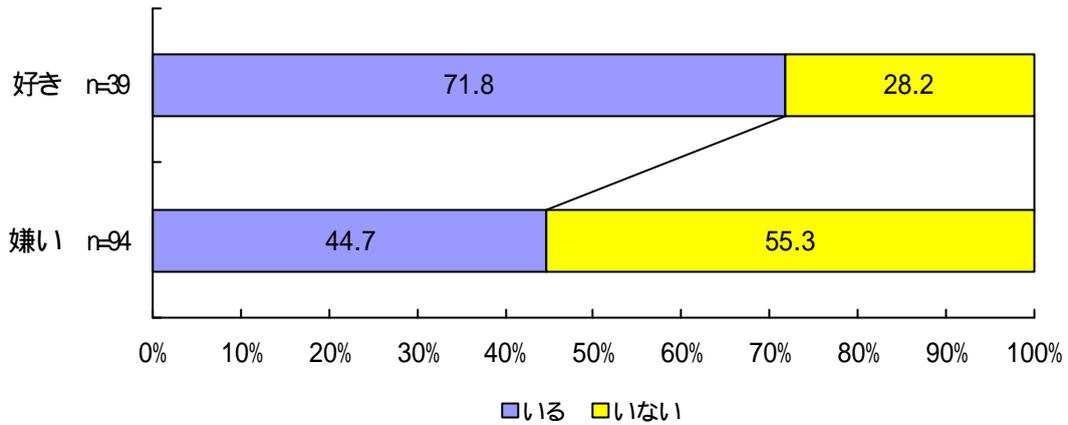
■アニメオタク ■マンガオタク □パソコンオタク □アイドルオタク ■ゲームオタク ■その他

137人の回答者の中の130人が知っていると答えた。その中で最も認知されているオタクの種類は「アニメオタク」で、全体の7割近くいた。次いで「アイドルオタク」「ゲームオタク」と続く。「アニメオタク」がトップであることから、オタク＝アニメというイメージが人々の中に浸透していると思われる。

(2) オタクの好き嫌いとおタク友達の有無

図2-4-2は、オタクが好きか嫌いかでグループを作り、グループ毎に友達がいるかいないかを集計したグラフである。オタクが「好き」な人の約7割にオタクの友達がい、嫌いな人で友達がいる人は約4割で半分にも満たない。このことから、人々がどれだけイメージだけでオタクを判断しているかがわかる。

図2-4-2 オタクの好き嫌いとおタクの友達の有無



(3) オタクの改善項目

別の設問で調査したところ、オタクに良いイメージを持っている人は少なかった。ではどうしたらオタクを良いイメージに変えられるのだろうか。これが明らかになれば同時にオタクが嫌われる要因も明らかになることになる。

図2-4-3 オタクを良いイメージにするための改善項目 (n= 134)

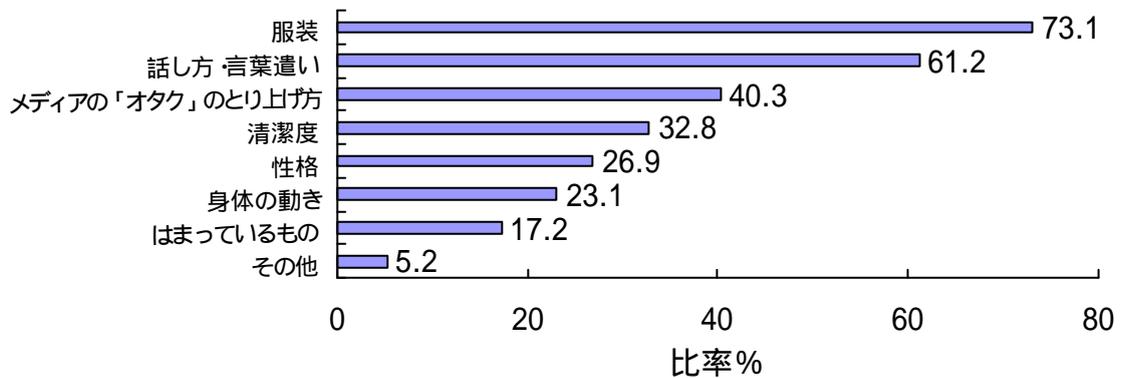


図 2 - 4 - 3 はオタクを良いイメージにするための改善項目を示した図である。一番多かったのが「服装」で次に「話し方・言葉遣い」「メディアのオタクのとり上げ方」と続く。

1位が「服装」ということは、ほとんど見た目でおタクを判断していることになる。また「メディアのオタクのとり上げ方」が3位になっているのは、最近になってオタクのメディア露出度が高まってきたということが影響している。ということは、メディアはオタクを良いイメージで伝達していないということにもなる。

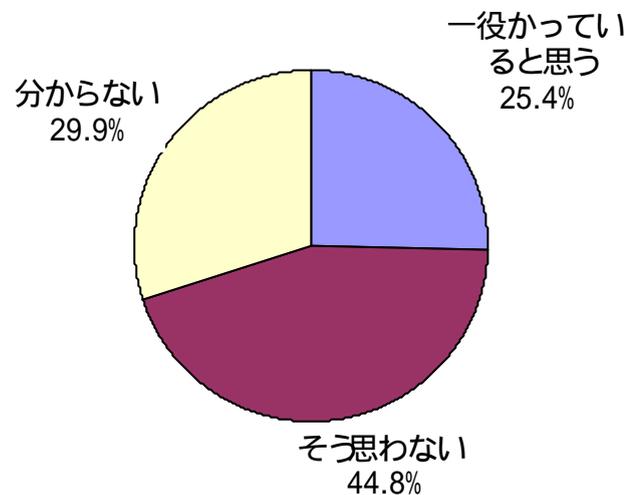
2.5 「オタク」と日本アニメの関係

(1) 海外の日本アニメ人気に対するオタク貢献度

最後に、オタクと日本アニメの関係について考える。オタクとアニメの絆が強いことは分かった。ではオタクは実際に海外の日本アニメ人気にどれほど貢献しているのだろうか。

図2-5-1は海外の日本アニメ人気について、オタクが一役買っているかどうかを聞いて集計したものである。「そう思わない」という人が最も多く、約4割だった。次いで「分からない」が約3割で多いことから、オタクが海外の日本アニメ人気に一役買っているとは言い切れないと人々は感じていることがわかる。

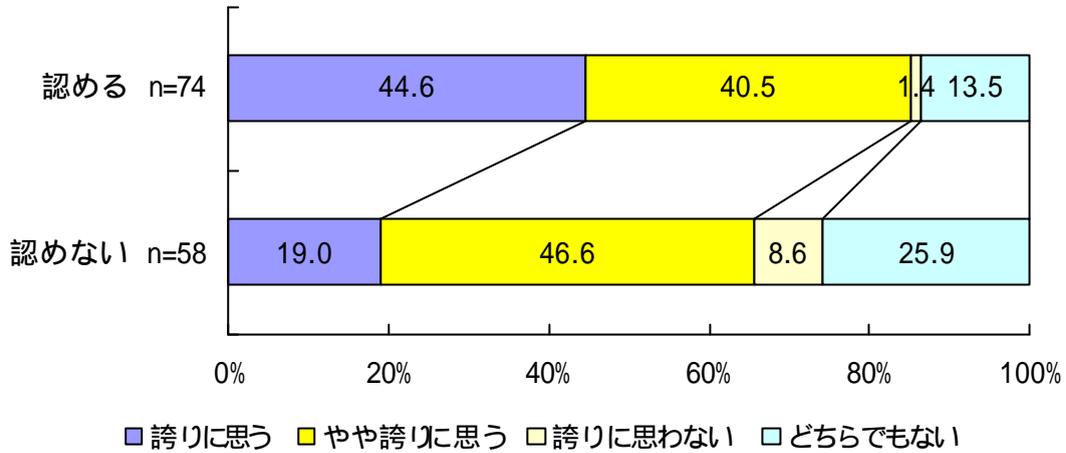
図2-5-1 海外の日本アニメ人気はオタクが一役かっているか (n=134)



(2) オタクの存在価値を認めるかと日本アニメを誇りに思うか

図2-5-2はオタクの存在価値を「認める」または「認めない」人が日本のアニメを誇りに思うかを集計したグラフである。オタクの存在価値を「認める」人は日本のアニメを誇りに思うことが多く、「やや誇りに思う」も含めると8割以上の人が誇りに思っている。しかし「認めない」人は誇りに思う割合が「認める」人に比べて約2割も減っている。つまり、オタクを認める人ほど日本アニメを誇りに思う割合が高いということだ。

図2-5-2 オタクの存在価値を認めるかと日本アニメを誇りに思うか
(2乗 :*)

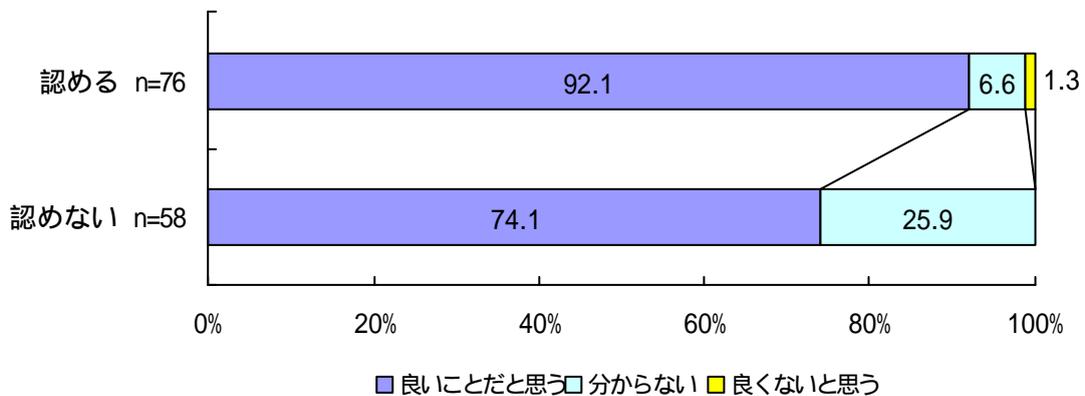


(3) オタクの存在価値を認めるかと欧米での日本アニメの注目に対する印象

図2-5-3はオタクの存在価値を「認める」または「認めない」人が、欧米で日本のアニメが注目されることについてどう思っているか集計したグラフである。オタクの存在価値を「認める」人は欧米で日本のアニメが注目されることを9割以上の方が良いことだと感じているのに対し、「認めない」人が良いことだと感じる割合は約7割で、両グループの差は約2割あった。

オタクを認める人ほど、オタクとアニメの関係を密接なものと考えていて、オタクを認めない人ほど、オタクとアニメをイコールと考えていないということが言えると思う。

図2-5-3 オタクの存在価値を認めるかと欧米での日本アニメの注目に対する印象 (2乗 :.006)



第3章 まとめと今後の課題

アメリカとヨーロッパの映画・音楽の認知について

世界レベルを聞いたところ、その芸術に対する自分の評価が高い人はその芸術を世界でトップクラスだと思い、評価が低い人はその芸術をトップだと思っていない傾向が出た。

しかし全体的にアメリカの音楽・映画のレベルが世界でトップクラスだとか、ヨーロッパの音楽・映画のレベルが世界でトップクラスだとかは人々にとって関心のないことのようにだ。世界でトップかというより、自分が好きか嫌いかが重要である。

アメリカとヨーロッパを比べて関心の度合いが高かったのはわずかではあるがアメリカであった。昔から日本との関係が深いアメリカの方が芸術面でも日本の関心を多く引いていることがわかった。

欧米で注目される日本製アニメについて

人々は日本のアニメが欧米で注目されていることについてはよく知っていた。しかしそれを嬉しくおもうかどうかは別物だった。アメリカ・ヨーロッパの映画・音楽の自分の評価が高い人は欧米で注目され、高く評価されることを嬉しく思っている。逆に評価が低い人はそれほど欧米での高評価を嬉しく思っていない。しかしそれは日本アニメの誇り度合には影響していなかった。評価が高い人も低い人も日本のアニメを誇りに思う度合いが高かった。日本アニメに対する誇りは欧米の影響はなにも受けてはいなかった。欧米の注目の後、日本アニメに対する考えが変わったという人もいたが、理由は日本のものが欧米で注目されることが嬉しいからといった単純なものであった。日本人のアニメに対する感情は完全に欧米に影響されているわけではない。欧米の注目は、日本の人々にアニメにもういちど目を向けさせるキッカケになったにすぎない。

「オタク」について

人々はオタクの存在自体は知っていた。しかしオタクに対するイメージは決して良いものではない。嫌われる要因として「服装」が上位であったように、人々は見た目でおタクを判断している。また、オタクと友達にもなってみないで嫌う。オタクと一般人の関係は最近の注目で近くなったようであるが、実際はとても遠い存在なのだ。また、メディアはおタクを見つめなおすどころか、まるで別の人種のように表現し伝達する。オタクと一般人の溝は深まる一方なのか。

「オタク」と日本アニメの関係について

オタクの存在価値を認める人ほど日本アニメを誇りに思う度合が高く海外で日本アニメが注目されることを良いと感じている。逆にオタクの存在価値を認めない人は日本アニメを誇りに思う度合が低く、海外で日本アニメが注目されることも特に良いとは感じていない。しかし全体的に見てオタクとアニメにこれといった関係は見出せなかった。最も認知されているオタクは「アニメオタク」であったが、それはイメージにすぎず、実際オタクは欧米でのアニメ人気に関係ないと人々は思っている、そんな印象が残った。

全体的な感想は、私はもともと日本でアニメを見直し始めているのは、欧米の影響があると考えていたがそれは違い、そういう人もいたが、ほとんどの人は欧米で注目されるのはそれなりに嬉しいけれど、特にアニメを見直しはしないということだ。人々が喜ぶのは認められたのが日本のアニメだからであって、欧米というのは特に関係なかった。

オタクに関しては私の予想通りの結果が出たと思う。オタクに良いイメージを持っている人は少なかった。日本人の傾向として、理解できないというか普通の人とは違った人をイメージや見た目やテレビの情報だけで判断し、一度自分の型にはまってしまったらなかなか考えを変えることはできない。オタクと欧米の繋がりも無いと分かった今、オタクを好きになることを欧米に頼ることはできなくなった。日本人がオタクを認めるにはオタク文化をひとつの日本の文化として認めることが大事である。

【今後の課題】

日本人と欧米の映画・音楽の関係、日本アニメと欧米の映・音楽の関係は関係性を見出すことができ良い結果がでたと思うが、オタクと日本アニメ・欧米の関係の部分が結果として良いものがでなかった。調査票作成の段階でもっと集計のことを考えながら作ればよかったと思う。

あと、機会があればぜひ本物のオタクたちに調査を依頼したい。オタクの意見と一般の人々の意見を照らし合わせながら両者のズレを明らかにできたら、両者の溝を少しでも埋められるかもしれない。また、外国人の方々にも調査を依頼したい。日本のアニメをどう思っているのか。それを聞けば本当の日本アニメと欧米の関係が明らかになると思う。

参考文献

- * 岡田斗司夫「オタク学入門」 新潮社 2000.10
- * 岡田斗司夫「オタクの迷い道」 文芸春秋 1999.3
- * 岡田斗司夫「東大オタク学講座」 講談社 1997.9
- * 森川嘉一郎「趣都の誕生-萌える都市アキハバラ」 幻冬舎 2003.2
- * 川口昌人・他「オタクビジネス、世界へ発進」 Newsweek 第18巻23号(2003)
pp.46-49
- * OTAKING SPACE PORT
<http://www.netcity.or.jp/OTAKU/okada/>

欧米諸国の映画・音楽と「オタク」認知に関する調査

情報学部 広報学科 ハツ橋ゼミ 奥山陽子

* 卒業研究に向けた調査です。無記名ですので率直にお答えください。

【アメリカの映画や音楽について伺います】

問1 あなたはアメリカの映画や音楽をどのくらいの頻度で鑑賞しますか。(は1つ) n=137

1.ほぼ毎日鑑賞している 12.4 2.たまに鑑賞している 67.2 3.ほとんど鑑賞しない 20.4

問2 あなたはアメリカの映画や音楽全般を、どう評価していますか。(は1つ) n=137

1.素晴らしい 11.7 2.良い 59.1 3.それほどでもない 13.1 4.良くない 2.2 5.わからない 13.9

問3 アメリカの映画や音楽のレベルは世界でトップクラスだと思いますか。(は1つ) n=137

1.はい 32.1 2.いいえ 20.4 3.わからない 47.4

問4 あなたはアメリカの映画や音楽が好きですか。(は1つ) n=137

1.はい 62.0 2.いいえ 4.4 3.どちらでもない 33.6

【ヨーロッパの映画や音楽について伺います】

問5 あなたはヨーロッパの映画や音楽をどのくらいの頻度で鑑賞しますか。(は1つ) n=137 無 0.7

1.ほぼ毎日鑑賞している 6.6 2.たまに鑑賞している 53.3 3.ほとんど鑑賞しない 39.4

問6 あなたはヨーロッパの映画や音楽全般を、どう評価していますか。(は1つ) n=137

1.素晴らしい 11.7 2.良い 46.0 3.それほどでもない 10.2 4.良くない 1.5 5.わからない 30.7

問7 ヨーロッパの映画や音楽のレベルは世界でトップクラスだと思いますか。(は1つ) n=137

1.はい 27.0 2.いいえ 14.6 3.わからない 58.4

問8 あなたはヨーロッパ映画や音楽が好きですか。(は1つ) n=137

1.はい 50.4 2.いいえ 3.6 3.どちらでもない 46.0

【欧米での日本製アニメ・マンガの人気について伺います】

問9 あなたは欧米で日本製のアニメやマンガが注目されていることを知っていますか。(は1つ) n=137

1.はい 68.6 2.なんとなく 27.0 3.いいえ 4.4

問10 あなたは日本製のアニメやマンガが欧米で注目されることについてどう思いますか。(は1つ) n=137

1.良いことだと思う 83.9 2.良くないと思う 0.7 3.わからない 15.3

問 1 1 あなたは日本製のアニメやマンガが欧米で高く評価されることについてどう思いますか。(は 1 つ)

1. とても嬉しい 47.4 2. やや嬉しい 36.5 3. わからない 13.9 4. やや嫌だ 0.7 5. とても嫌だ 1.5

問 1 2 あなたは欧米で劇場公開された日本のアニメを知っていますか。(は 1 つ) n=137

1. はい 70.8 2. いいえ 29.2

問 1 3 あなたは欧米で劇場公開された日本のアニメを観たことがありますか。(は 1 つ) n=137

1. はい 43.1 2. いいえ 56.9

問 1 4 欧米で日本のアニメが注目されてから、日本のアニメに対する気持ちに変化はありましたか。

(は 1 つ) n=137

1. はい 付問 1 へ 20.4 2. いいえ 問 1 5 へ 76.6 無 2.9

以下の付問 1 は問 1 4 で「1. はい」を答えた方のみがお答えください。

付問 1 それはどんな変化ですか。(は 1 つ) n=30

1. 以前より日本のアニメをプラスに見るようになった 付問 2 へ 90.0
2. 以前より日本のアニメをマイナスに見るようになった 問 1 5 へ 0.0 無 10.0

付問 2 なぜ日本のアニメをプラスに見るようになったのですか。(はそれぞれ 1 つ) n=29

	そう思う	ややそう思う	どちらとも いえない	あまり そうは 思わない	まったく そうは 思わない
A. 日本が欧米で注目されることが嬉しいから	62.1	31.0	3.4	0.0	0.0
B. 欧米で人気のあるものは良いと思えるから	13.8	24.1	31.0	20.7	6.9
C. 欧米が認めたから	13.8	44.8	27.6	6.9	3.4
D. 日本が誇れるものができたから	48.3	34.5	10.3	3.4	0.0

そのまま問 1 5 へ進んでください。

問 1 5 あなたは日本のアニメを誇りに思いますか。(は 1 つ) n=136 無 0.7

1. 誇りに思う 32.4 2. やや誇りに思う 43.4 3. 誇りに思わない 4.4 4. どちらでもない 19.1

【「オタク」について伺います】

問 1 6 あなたは「オタク」と呼ばれている人々がいることを知っていますか。(は 1 つ) n=136

1. はい 92.6 2. なんとなく 5.1 3. いいえ 最後のページ・F 1 へ 2.2

問 1 7 「オタク」と聞いて一番に思いつく「オタク」は何オタクですか。(は 1 つ) n=133

1. アニメオタク 63.9 3. パソコンオタク 7.5 5. ゲームオタク 8.3
2. マンガオタク 2.3 4. アイドルオタク 14.3 6. その他(記入:1.5) 無 2.3

問 1 8 あなたは世間一般に言われている「オタク」という言葉には良いイメージがあると思いますか。それとも悪いイメージがあると思いますか。(は 1 つ) n=133

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 良いイメージがあると思う 1.5 | 4. 悪いイメージがあると思う 27.8 |
| 2. どちらかというが良いイメージがあると思う 6.0 | 5. わからない 7.5 |
| 3. どちらかというが悪いイメージがあると思う 57.1 | |

問 1 9 「オタク」のことが好きか嫌いかで聞かれたらどう答えますか。(は 1 つ) n=133 無 0.8

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 好き 付問 1・2 へ 4.5 | 3. あまり好きではない 付問 3・4 へ 58.6 |
| 2. どちらかといえば好き 付問 1・2 へ 24.8 | 4. 嫌い 付問 3・4 へ 11.3 |

以下の付問 1・2 は、オタクが「好き または どちらかといえば好き」な方のみがお答えください。
付問 1 なぜ「オタク」のことが好きなのですか。(はいいくつでも) n=39

- | | |
|--------------------------------|-------------------------|
| 1. 何事にも情熱を持ってやることは良いことだから。51.3 | 6. おもしろいから。35.9 |
| 2. はまっているものによっては良いものもあるから。30.8 | 7. 一途だから。17.9 |
| 3. はまっているものが人の役に立つこともあるから。12.8 | 8. 自分の世界を極めているから。35.9 |
| 4. 自分の知らないことを知っているから。30.8 | 9. 何を隠そう、自分もオタクだから。23.1 |
| 5. 普通の人にはない魅力があるから。17.9 | 10. なんとなく 10.3 |

付問 2 あなたの周りに「オタク」の友人はいますか。(は 1 つ) n=39

- | | |
|------------|-------------|
| 1. はい 71.8 | 2. いいえ 28.2 |
|------------|-------------|

ここまでお答えの方は、問 2 0 へ進んでください。

以下の付問 3・4 は、オタクが「あまり好きではない または 嫌い」な方のみがお答えください。
付問 3 なぜ「オタク」のことが嫌いなのですか。(はいいくつでも) n=94

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1. 「オタク」というだけで嫌いだから。6.4 | 6. 話についていけないから。45.7 |
| 2. はまっているものが嫌だから。21.3 | 7. ウザいから。9.6 |
| 3. はまっているものが何の役にも立たないから。2.1 | 8. 汚いから。3.2 |
| 4. 見た目が嫌だから。26.2 | 9. なんとなく 44.7 |
| 5. 良い噂を聞かないから。20.2 | 無 2.1 |

付問 4 あなたの周りに「オタク」の友人はいますか。(は 1 つ) n=94

- | | |
|------------|-------------|
| 1. はい 44.7 | 2. いいえ 55.3 |
|------------|-------------|

そのまま問 2 0 へ進んでください。

問 2 0 「オタク」に悪いイメージがある場合、何を改善すれば良いイメージに近づくとお思いますか。1 位から 3 位までランク付けして() 内に番号を記入してください。n=134

- | | | |
|------------------|------------------|--------------------------|
| 1. 服装 73.1 | 4. はまっているもの 17.2 | 7. メディアの「オタク」のとり上げ方 40.3 |
| 2. 話し方・言葉遣い 61.2 | 5. 性格 26.9 | 8. その他(カッコ内に記入) 5.2 |
| 3. 身体の動き 23.1 | 6. 清潔度 32.8 | 無 6.7 |

1 位:()	2 位:()	3 位:()
---------	---------	---------

問 2 1 現在、海外で日本製のアニメやマンガが注目されています。これについてあなたは「オタク」が一役買っていると思いますか。 (は 1 つ) n=134

1. そう思う 25.4 2. そう思わない 44.8 3. わからない 29.9

問 2 2 あなたは「オタク」が日本のアニメのレベルを高めてきたと思いますか。 (は 1 つ) n=134

1. そう思う 25.4 2. そう思わない 43.3 3. どちらともいえない 31.3

問 2 3 あなたは「オタク」の存在価値を認めますか。それとも認めませんか。 (は 1 つ) n=134

1. 認める 56.7 2. 認めない 6.7 3. どちらでもいい 36.6

問 2 4 今後「オタク」が日本から消えるとしたら、日本にはどのような影響があると思いますか。
(はいくつでも) n=134

1. 日本のアニメ産業が衰退する。54.5	6. 新しい文化が生まれにくくなる。9.0
2. 日本のマンガ産業が衰退する。36.6	7. 住み心地が良くなる。3.0
3. 海外から日本が注目されなくなる。3.0	8. 人の差別が無くなる。8.2
4. 日本の誇れるものが無くなる。3.0	9. 何も変わらない。26.1
5. オタク文化に取って代わって、新しい文化が生まれる。32.1	無 3.7

問 2 5 今後「オタク」が日本から消えるとしたら、あなた自身にはどのような影響があると思いますか。
(はいくつでも) n=134

1. 自分は何も困らないし、変わらない。73.1	6. アニメ産業が衰退して、おもしろいアニメが観られなくなりそうで困る。14.9
2. 嫌いだった「オタク」が消えて、清々する。0.7	7. マンガ産業が衰退して、おもしろいマンガが読めなくなりそうで困る。17.9
3. 自分が「オタク」なので困る。6.0	
4. 「オタク」が好きだったので、物足りなく感じる。3.0	
5. 日本人として誇れるものが無くなるので困る。2.2	無 3.7

【最後にあなたご自身について伺います。1つ選んで をしてください。】

F 1 性別 n=137

1. 男 45.3 2. 女 54.7

F 3 学部・学科 n=137

1. 広報学科 48.9 2. 経営情報学科 10.2 3. 情報システム学科 23.4 4. 国際学部 17.5

F 4 出身地域 n=137

1. 東京、神奈川、埼玉、千葉 40.9 2. その他の地域 59.1

調査は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。